

いざという時のために災害への備え

災害時には、水道、電気、ガスといったライフラインが止まること等により様々な生活に支障がでます。食糧や飲料水については、日頃から適切な備えをしておきましょう。

3日分程度の食品、飲料水の備えをしましょう！

災害発生直後は、支援物資が届くまで時間がかかることを想定し、最低3日分の水と食料を備えておきましょう。

大規模災害の場合には、食品や生活物資が店頭から売り切れるなど、物流機能が低下することや、ライフライン(電気・ガス・水道)が停止することも想定されています。水と食料は、命を守り、英気を養うことにつながりますので、自分と家族の3日分は、必ず備えておきましょう。

日頃からの備え

非常持ち出し品の準備を

避難する時の荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。



避難場所や避難路の確認を

ハザードマップで自分の地区の避難所と安全な避難経路の確認をしておきましょう。



避難時持ち出し品リスト(例)

□衣類

- ・下着
- ・タオル
- ・ハンカチ
- ・軍手



□非常食、水

□貴重品

- ・現金
- ・印鑑、預金通帳等
- ・免許証、保険証等



- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 携帯電話(充電器)
- 乾電池
- マッチ・ライター
- 医療品



- ・ガーゼ ・ばんそうこう
- ・傷薬 ・包帯
- ・消毒液 ・目薬
- ・ティッシュ ・脱脂綿
- 洪水・道路冠水ハザードマップ



投稿俳句 野木俳句会

【講師吟】

落ちて私語交す団栗同士かな
石倉夏生

風景の時間が止まる秋思かな
秋元幸治

雪の便り乗せて列車は上野行き
石川和子

彩に癖のそれぞれ秋深む
小川鶴枝

公園に晩秋と云ふ靴の音
幸田慶三郎

神木の洞ほらをうかがう秋の蜂
小林たけし

ほどほどに距離置く姿秋吟行
田村行子

雲流るひそひそと狗尾草えのこぐさ
竹内律子

朝寒や赤い手帖と杖一本
藤間雅江

父母見し豊かなひかり柿の秋
長沢弥一郎

天高しマッサージベンチで深呼吸
軽部榮子

※秋の野木町内を吟行した作品です